

燻煙熱処理杉材の性質評価試験

「測定・分析技術」

「研究機関/研究者」
「委託者」

研究開発センター ◇林 成実
有限会社高橋建具製作所

ミニ共同研究

■目的

燻煙熱処理杉材をドア等建具材として利用拡大を図ることを目的に、従来材(天然乾燥杉材)と比較した性質評価試験を行った。

■研究内容

- 1 燻煙熱処理杉材の性質評価
- 2 燻煙熱処理杉材を用いた木製ドアの形状安定性評価

■研究成果

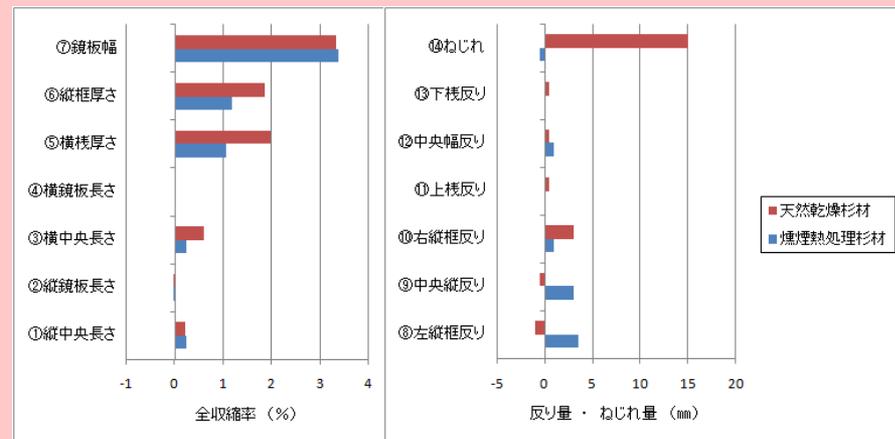
- 1 燻煙熱処理杉材の収縮率は、従来材の約1/2となり寸法安定性が確認された。
- 2 実大ドアでは、燻煙熱処理杉材を用いることによりねじれを抑制できることが分かった。

■成果の展開性

販路拡大に繋げていく方向。



【環境試験状況(左:実大ドア、右:試験部材)】



【実大ドアの試験結果】